

# 令和4年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株)札幌都市開発公社		所管課	経済観光局経営支援・雇用労働担部商業・経営支援課	
基本財産	520,000千円		記入者	担当 林	電話 011-211-2372
設立年月日	昭和44年(1969年)5月31日		本市出資額	123,000千円 (出資割合 23.7%)	
設立・出資目的	札幌冬季オリンピック開催に伴う地下鉄建設計画を契機に都心部の交通緩和、高度利用ならびに冬期雪害対策等を目的として、地下商店街と併せて公共通路・公共駐車場が建設されることとなり、これらの施設の建設及び維持管理運営を行うため設立された。		沿革	S44年5月 会社設立(本市からの出資なし) S45年2月 増資に伴い、札幌市も出資(51,000千円) S46年11月 さっぽろ地下街開業 S52年8月 増資により、現在の資本金・出資額に至る H24年 開業40周年に向けた大規模改修工事開始 H25年 大通地下駐車場改修工事竣工	
代表者	代表取締役社長(常勤) 小西 正雄(市OB)				
主な出資者	① 札幌市 (23.7%) ② 札幌商工会議所 (10.1%) ③ 日本政策投資銀行 (9.6%) ④ 北海道 (5.8%) ⑤ 日本カストディ銀行(株) (5.8%) ⑥ 北洋銀行 (5.0%)				
団体所在地	〒060-0052 中央区南2条東1丁目1番地14 住友生命札幌中央ビル2 電話 011-231-6060				

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理 (5ページ)	② 駐車場賃貸業務 (6ページ)
公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保しつつ、天候に左右されることなく安心して買い物ができる商店街として都心部の魅力を高める。	都心部の中核となる駐車場として、公共の利便性を高める。
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 100.0% (主要事業支出合計 1,756,253千円 ÷ 総支出 1,756,253千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	公共地下通路や公共地下駐車場を安全かつ円滑に管理・運営しており、出資目的に見合う効果が出ている。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	防災訓練の定期的な実施や各種施設の適時適切な修繕により、公共地下通路や公共地下駐車場は安定的に管理・運営されている。

## 3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					12	10歳代	0	40歳代	6	取締役	2年
常勤取締役	2	0	1	1		20歳代	1	50歳代	19	監査役	4年
常勤監査役	0	0	0	1		30歳代	6	60歳代	10	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤取締役			5			平均年齢		51.3歳		取締役	R3.6
非常勤監査役			2							監査役	
職員					43	職員総数の推移(人)					
常勤管理職	1	0	8	0		R02.4.1時点	49				
常勤一般職	0	0	34	0		R03.4.1時点	44				
非常勤職員			0								

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R2年度決算	R3年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,719,899	1,841,383 (100.0%) (+121,484)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,677,604	1,781,404 (+103,800)
			営業費用 (b)	1,733,486	1,756,253 (+22,767)
			うち販売費・一般管理費 (c)	153,610	133,940 (7.3%) (▲ 19,670)
			うち人件費 (d)	260,052	244,483 (13.3%) (▲ 15,569)
		営業利益 (e)	▲ 55,882	25,151 (+81,033)	
	営業外	営業外収益 (f)	42,295	59,979 (+17,684)	
		当期純利益 (g)	▲ 9,553	37,815 (+47,368)	
	貸借対照表	資産 (h)	6,059,663	5,685,434 (▲ 374,229)	
		流動資産 (i)	424,438	475,684 (+51,246)	
固定資産 (j)		5,635,225	5,209,750 (▲ 425,475)		
負債 (k)		2,434,738	2,053,893 (▲ 380,845)		
流動負債 (l)		765,684	547,078 (▲ 218,606)		
固定負債 (m)		1,669,054	1,506,815 (▲ 162,239)		
純資産 (n)		3,624,924	3,631,540 (+6,616)		
資本金 (o)		520,000	520,000 (0)		
	借入金残高 (p)	309,910	148,714 (▲ 161,196)		

#### R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	売上高は、賃貸料収入が前年度比約7.1%増、駐車場収入が前年度比約11.5%増となり、全体で前年比6.2%増となった。
b, c, g	費用面は、道路占用料の値上げ等があったが、人件費や設備更新工事の抑制等により、営業費用を前年比1.3%増に抑えることができ、当期純利益は約4,700万円増となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	3,104,924	3,111,540	(+6,616)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	59.8%	63.9%	(+4.1%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	55.4%	86.9%	(+31.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	155.5%	143.5%	(▲12.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	5.1%	2.6%	(▲2.5%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	35,100千円	41,850千円	(+6,750千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	15.5%	13.7%	(▲1.8%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	3,135千円	3,044千円	(▲91千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	9.2%	7.5%	(▲1.6%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	「健全性」については、流動比率や固定比率などが評価基準を満たしていないものの、自己資本比率は引き続き50%を超えている。「生産性」については、人件費率及び管理費率は改善されている。また、「自立性」については、市への財政的な依存はない。以上から、経営状況は概ね健全であると認められる。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1:詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2:指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1) 出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資比率の維持						
①	本市出資金	目標	123,000千円	123,000千円	123,000千円	
		実績	123,000千円	123,000千円		
		評価	達成			
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2) 人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○必要な人的関与の継続						
①	本市派遣職員数	目標	0	0	0	
		実績	0	0		
		評価	達成			
②	本市職員の役員就任数	目標	1	1	1	
		実績	1	1		
		評価	達成			
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○公共地下通路及び地下駐車場の適切な管理運営						
①	地下街災害件数(年間)	目標		0	0	0
		実績	0			
		評価		達成		
②	防災訓練の実施回数(年間)	目標		2	2	2
		実績	2	2		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○さっぽろ地下街テナントの賃借管理及び地下駐車場の運営による安定した事業収入の確保						
①	公共地下駐車場の事業収入 (単位:千円)	目標		368,000	400,000	400,000
		実績	308,842	344,409		
		評価		未達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
新型コロナウイルス感染拡大の影響による市民の外出自粛等により、都心部への来訪者数が減り、地下駐車場の事業収入は目標値を下回ったものの、令和2年度比では事業収入は上回っている。R4年度については、都心部への来訪者数が持ち直すことが予想され、また、地下街としても販売促進事業を実施すること等から、目標値は達成できるものとする。						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○運営状況に関する情報の共有化、定期監査実施の継続及び地下街における新型コロナウイルス感染拡大防止対策						
①	取締役会の開催回数(年間)	目標		5	5	5
		実績	5	5		
		評価		達成		
②	外部監査回数(年間)	目標		3	3	3
		実績	3	3		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障がい者就労施設からの物品 調達 (契約金額、税抜)	目標		50,000円	50,000円	50,000円
		実績	71,200円	14,600円		
		評価		未達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
令和3年度は、令和2年度までに障がい者就労施設から調達した物品を使用したことなどにより、目標値を下回った。令和4年度は、都心部への来訪者が持ち直すことが予想され、また、地下街としても販売促進事業を実施すること等により、物品使用量が増えることが見込まれ、物品調達を障がい者就労施設から積極的に調達する予定であることから、目標値は達成できるものとする。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○事業系廃棄物のリサイクル推進						
①	事業系廃棄物の再利用率 (%)	目標		52.4%	52.5%	52.6%
		実績	51.8%	48.1%		
		評価		未達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
新型コロナウイルス感染拡大の影響による市民の外出自粛等により、都心部への来訪者数が減り、地下街の通行人が捨てる再利用可能なゴミの量が減ったため、再利用率は目標値を下回った。令和4年度については、都心部への来訪者数は持ち直すことが予想され、地下街としても販売促進事業を実施すること等から、再利用可能なゴミの量が増え、目標値は達成可能と考える。						

## 8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	<a href="https://www.sapporo-chikagai.jp">https://www.sapporo-chikagai.jp</a>			
Eメールアドレス	<a href="mailto:info@sapporo-chikagai.co.jp">info@sapporo-chikagai.co.jp</a>			
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（	）			
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	さっぽろ地下街のガイドマップ発行、日本語版・4ヶ国語（英語、中文（繁体・簡体）、ハングル）版の2種類を作成し、総合案内所ほかで配布。			

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和4年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理

1. 事業概要	事業所管課： 経) 経営支援・雇用労働担部商業・経営支援課	担当： 林	電話： 211-2372
(1)事業内容	(1)地下公共通路及びそれに付帯する店舗等の維持管理及び賃貸事業 ・さっぽろ地下街は、東西に延びるオーロラタウンと、南北に延びるポータルタウンの2つのストリートで構成されている。  ①オーロラタウン (店舗数52 延長312m) 衣料品13店 雑貨・身廻品14店 文化品3店 食品7店 飲食・喫茶7店 サービスほか8店  ②ポータルタウン (店舗数77 延長400m) 衣料品16店 雑貨・身廻品28店 文化品6店 食品8店 飲食・喫茶9店 サービスほか 5店  合計 (店舗数124) 衣料品29店 雑貨・身廻品42店 文化品9店 食品15店 飲食・喫茶16店 サービスほか13店		
(2)事業目的	公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保し、天候に左右されることなく、安心して買い物や都心内拠点間通行ができる商店街として都心部の魅力を高める。		
(3)事業開始	昭和46年(1971年) 11月16日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,368,762	1,436,995	( +68,233 )
		( 79.6% )	( 78.0% )		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	1,368,762	1,436,995	( +68,233 )	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用 (支出)	1,584,265	1,616,031	( +31,766 )	
	事業費	1,430,655	1,482,091	( +51,436 )	
	管理費等	153,610	133,940	( ▲ 19,670 )	
	収支差	▲ 215,503	▲ 179,036	( +36,467 )	
	収支比率	86.40%	88.92%	( +2.52% )	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	防災訓練の実施	2	2	2	2
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	災害件数	0	0	0	0
②	地下街年間売上 (百万円)	7,456	10,560	8,021	10,560
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	市民・観光客に公共地下通路等を安心・安全に利用していただくために、春季と秋季の年2回防災訓練を実施しており、災害件数はゼロを維持している。また、従業員に対しAED講習会を実施することで、安全に対する意識向上に取り組んでいる。これらの取組により、市民・観光客が安心してさっぽろ地下街を訪れることができる環境づくりを行っている。 以上のことから、当該団体の事業効果は、事業目的に対し十分得られているものと認められる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業収入は目標値を下回ったものの、事業収入の増加 (R2年度比で約5.0%) や管理費等の削減により収支差は改善されており、駐車場賃貸事業の収支も踏まえると収支状況は概ね良好であると認められる。



## 事業評価 ( 2 ) 駐車場賃貸事業

1. 事業概要	事業所管課： 経) 経営支援・雇用労働担部商業・経営支援課	担当： 林	電話： 211-2372
(1)事業内容	大通地下駐車場（収容台数366台）の運営管理		
(2)事業目的	都心部における買物客や事業用車両等の利便性を高めるべく、様々な利用者のニーズに対応した駐車場の運用を行う。		
(3)事業開始	昭和46年(1971年) 11月16日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		308,842 ( 18.0 % )	344,409 ( 18.7 % )	(+35,567)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	308,842	344,409	(+35,567)	
	費用(支出)	149,221	140,222	(▲8,999)	
	事業費	149,221	140,222	(▲8,999)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	159,621	204,187	(+44,566)	
	収支比率	206.97%	245.62%	(+38.65%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	利用しやすい駐車場を目指す(料金設定、プリペイドカード導入など)。	通年	通年	通年	通年
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	駐車場事業収入(千円)	308,842	368,000	344,409	369,000
②	年間利用台数(台)	465,821	500,490	476,790	515,000
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	利用者の多様なニーズに対応できるように、30分料金導入など様々な料金設定や支払方法のほか、ベビーカー利用者のニーズにも配慮した、ひろびろスペース(通常3台のところ2台)の提供などを行っている。 これらの取り組みは、事業目的に対し十分な効果を得られているものと認められる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業収入は目標値を下回ったものの、事業収入の増加(R2年度比で約11.5%)や事業費の削減により、十分な収支を確保している。

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	千円		千円
<b>【流動資産】</b>	475,684	<b>【流動負債】</b>	547,078
現金及び預金	253,365	1年内返済長期借入金	142,856
未収入金	38,203	1年内返済保証金	5,542
有価証券	160,040	未払金	101,569
その他流動資産	24,075	未払法人税等	20,944
		未払消費税等	33,257
		未払費用	33
<b>【固定資産】</b>	5,209,750	前受金	112,634
(有形固定資産)	3,569,894	預り金	20,904
建物	3,334,165	賞与引当金	9,337
構築物	101,357	修繕引当金	100,000
器具備品	97,081	<b>【固定負債】</b>	1,506,815
土地	4,500	長期借入金	5,858
リース資産	16,278	受入保証金	85,037
建設仮勘定	16,511	受入敷金	1,364,453
(無形固定資産)	615,083	退職給付引当金	40,749
電話加入権	1,693	長期未払金	10,716
ソフトウェア	714	負債の部合計	2,053,894
施設利用権	612,675	純資産の部	
(投資その他の資産)	1,024,773	<b>【株主資本】</b>	3,631,540
投資有価証券	60,810	(資本金)	520,000
差入保証金	10,608	資本金	520,000
保証金返還積立金	892,018	(利益剰余金)	3,111,540
長期前払費用	5,921	利益準備金	130,000
繰延税金資産	55,286	別途積立金	2,418,800
その他	128	繰越利益剰余金	562,740
		純資産の部合計	3,631,540
資産合計	5,685,435	負債・純資産合計	5,685,435



# 損 益 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日

科 目	金 額	
		千円
【 売 上 高 】		1,781,404
【 売 上 原 価 】		1,622,313
売 上 総 利 益		159,091
【販売費及び一般管理費】		133,940
営 業 利 益		25,150
【 営 業 外 収 益 】		
受取利息・配当金	1,726	
雑 収 入	58,253	59,979
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	3,617	
雑 損 失	16,800	20,417
経 常 利 益		64,712
【 特 別 損 失 】		
固定資産除却損	57	57
税引前当期純利益		64,655
法人税、住民税及び事業税		18,149
法 人 税 等 調 整 額		8,689
当 期 純 利 益		37,815